

若葉の森3・1会

(正式名称:若葉町3丁目第1緑地 みどりと生きものを大切にする会)
活動開始年:2010年 問い合わせ: 市役所 緑と公園課 ☎042-481-7083

活動日:第1日曜日
AM9:30~12:00
1月と8月は休み



若葉町3丁目第1緑地・第2緑地を保全するために調布市と協働して活動する市民のボランティア団体です。

巨樹の森 若葉町3丁目 第1緑地は、樹高20m超のシラカシなどの巨樹の森。若葉小・四中の通学路「六別坂」に面し、朝夕に子どもたちの元気な声が響き、夏の夜はカフトムシ採集の親子でにぎわいます。近年は保育園の園外保育の利用も増加。安全に緑や生きものに親しめるように森を維持・管理することは、保全活動の大切なポイントです。

武蔵野の面影 第2緑地の崖上部分は、落葉広葉樹のコナラ・クヌギが多く、武蔵野の雑木林の面影を今に伝える、明るく爽やかな森。春はキンランが見事です。ただ、樹を伐って利用しなくなったため、昔よりも高く太い樹が多くなっています。2020年8月、コナラ・クヌギなどの伝染病「ナラ枯れ」が発生。感染拡大と倒木を防ぐために多くの木を伐らざるを得ませんでした。2022年春までに種々の対策を講じましたが、感染拡大阻止にはまだ成功していません。

宅地開発の影響 2017年春から緑地に隣接する民有地で宅地開発工事があいつぎ、緑地とつながる緑がなくなるとともに、境界部のシラカシなどの高木30本近くが伐採されました。その影響で日照・風当りなど緑地の環境が変化し、もともと林床の植生が乏しい第1緑地では、表土の乾燥と流失が著しくなりました。隣接緑地からシバ類やハラン、幼木などを移植するとともに、2018年秋の台風で倒れたコナラの材や第2緑地の竹を利用して、大規模な土留めを設置しました。その結果、表土流失が少なくなり、緑も回復しつつあります。



貴重種の宝庫 春のキンラン(写真上)・ギンラン、夏のサガミランなど、絶滅危く種のラン科植物が林床で頑張っています。その保護は、やりがいのある、大切な活動です。



↑ 晩秋の第2緑地

← 第一緑地で遊ぶ保育園児。仙川駅やつつじヶ丘駅に近い園からやってくる。

